

次なる
茨木へ。



茨木市立ギャラリー企画展37

書が織りなす日本の心

小林芙蓉展

平成30年

2/8 (木) ▶ 13 (火)

10:00~19:00

(最終日は17:00まで)

茨木市立ギャラリー
(阪急茨木市駅ロサヴィア2階)

主催 茨木市





37回目を数える茨木市立ギャラリー企画展。今回は、「書が織りなす日本の心—小林芙蓉展」と題し、書画家・小林芙蓉氏の作品を展示します。

幼少期から書の基本を学ばれた氏は、オーストラリア国立大学日本語学科で書と俳句を指導。楷書から行書、草書、前衛書まで含めた多様な作品を制作されています。その活躍は国内から海外まで幅広く、伊勢神宮をはじめとする神社仏閣での揮毫や作品の奉納、東京オリンピック公認プログラムへの出展のほか、映画「古都」の題字の揮毫および同映画への出演もされています。

また、国際親善にも精力的に取り組んでおられ、多くの国で、「書が織りなす日本の心」を伝え続けています。

今回の企画展では、2017年に本市で揮毫した「山の音」(川端康成の同名小説より)などを公開します。心ふるわす作品の数々を、ぜひご覧ください。

茨木市

【略歴】

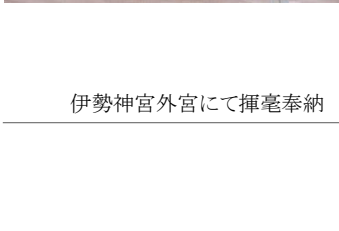
1976年から活動を始め、アジアを中心に中国、イスラエル、イタリアなど世界各地で書を通じて国際親善に尽力。その書はローマ法王にも献上され、韓国政府からは親善感謝の碑を授与、国際美術批評家連盟からは「世界最高峰基準アーティスト」として認定されるなど、海外での評価は特に高い。国内では伊勢神宮など全国の神社仏閣で揮毫・奉納を行う。

また、京都・嵐山にて元内閣総理大臣・近衛文麿公の別邸を改築した豆腐懐石料理店「松籟庵」を経営、女将として料理を通じて和の心を伝えている。

著書に「水のように生きる」、映画題字に「祈り」「古都」など。「古都」は書家としても出演した。



伊勢神宮内宮にて揮毫奉納



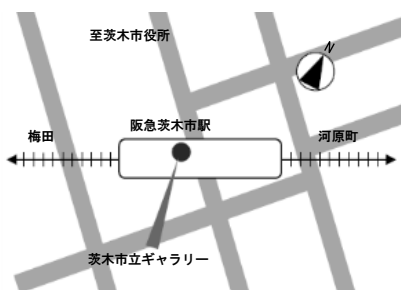
伊勢神宮外宮にて揮毫奉納



茨木市にて「山の音」揮毫



【茨木市立ギャラリー】
茨木市永代町1番5号
(阪急茨木市駅ロサヴィア2階)



関連イベント「揮毫デモンストレーション」

日時 2月12日(月・祝)、午後2時～2時30分
場所 茨木市立男女共生センターローズWAM
ワムホール(茨木市元町4-7)
定員 先着150人(事前申込は必須ではありませんが、当日に空席がない場合は予約された方を優先します)
問合せ先 茨木市市民文化部文化振興課
TEL072・620・1810